生だより

シリーズ 子牛の下痢症 第2回 ~子牛の下痢症の原因~

令和4年 8月 1日発行

最上家畜保健衛生所

最上地域家畜畜産物衛生指導協会

Tel: 29-1357 FAX: 23-2944

下痢の原因は1つだけじ ゃないんだね!



子牛の下痢の原因は、感染性下痢と非感染性下痢に分類されます。

感染性下痢は大きく分けて、①ウイルス ②細菌 ③寄生虫の3つに分類されます。 非感染性下痢は消化不良やストレスなどの原因が考えられます。

今回はその中でも代表的であり、発生の多いものを詳しく見ていきましょう。

感染性下痢 | 単独での感染のほか、複数の感染でおこる場合もあります。

(例) ウイルス+コクシジウムなど

牛舎内の衛生対策

も必要だね

ウイルス

(1) ロタウイルス感染症

発生日齢:4~14日齢で多発

便の性状: 黄色・乳白色・黄緑色の水下痢

(2) コロナウイルス感染症

発生日齢:4~30日齢で多発

便の性状: 黄色・乳白色の水下痢、重症化すると粘血便へ

●呼吸器にも感染し肺炎を引き起こすので、呼吸器からの飛沫感染

にも注意が必要です。(現在大流行しているコロナウイルスとは異なります。)

(1) 大腸菌

発生日齢:3日齢~2週齢以内で多発

便の性状:水下痢、血便、粘血便

●大腸菌には毒素を産生し病原性を示すものも存在し、酸臭便を 伴う激しい下痢を引き起こすこともあります。

●混合感染により敗血症を引き起こすこともあります。

(2) サルモネラ

発牛日齢:30日輪未満で多発

便の性状:黄白色・灰白色の軟便、粘液を含んだ下痢

●感染が重度になると、敗血症などを引き起こすこともあります。

細菌

治療は原則

対症療法のみ

獣医さんに相談だ!



寄生虫

(1)コクシジウム感染症

発生週齢: 3~4週齢で多発

便の性状:水下痢や血便

●コクシジウムは約10種類存在し、中には病原性が強く症状が

重度になるものもあります。

(2) クリプトスポリジウム感染症

発牛日輪: 1~4週輪で多発

便の性状:未消化乳・粘液、淡黄色の水下痢

●感染すると腸管粘膜に侵入し、腸管粘膜を傷害することもあります。

非感染性下痢 感染によらない下痢

母乳性白痢

発生日齢:4~5日齢で多発

便の性状:白色から黄白色の水下痢

●母牛のエネルギー不足等により母乳の性状が変化し、消化不良へ 代用乳でも発生することがあり、給与量や温度が原因となります。

母乳性白痢のほか、ワラの誤食による消化不良・気温の急激な変化など の環境変化のストレスによって下痢を引き起こすこともあります。

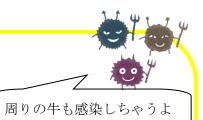
下痢が発生した際に治療を行うことはもちろん大切ですが、発生を予防 することが最も重要です。

子牛の下痢症に対する理解を深め、下痢症対策に繋げていきましょう。

次回は子牛の下痢症の予防法について解説します!

ご不明な点等は、**最上家畜保健衛生所**までご連絡ください。

電話番号 0233-29-1357 (休日・時間外も連絡可能)





MILK